

2025 年度

【査読付き論文】

1. 佐藤聖, 林圭輔, 呂隆徳, 岡村綾子, 遠藤寿子, 大田哲生. 生後から長期入院となり気管切開された患児の言語聴覚療法に透明マスクを導入し奏効した一例. 国立大学リハビリテーション第 46 巻 31-34. 2025 年
2. 伊達歩, 三田村信雄, 呂隆徳, 樋口隼太郎, 石田健一, 大田哲生. 当院における心臓リハビリテーション参加患者の復職状況. 心臓リハビリテーション, 31(2) : 116-122, 2025.
3. 高橋佑弥, 呂隆徳, 八木橋史佳, 木下学, 大田哲生. 覚醒下腫瘍摘出術における作業療法士・言語聴覚士の取り組み. 北海道リハビリテーション学会雑誌第 49 巻. 2026 年.

【講演】

1. 伊東修一. システムティックレビュー. 2025 年度道北支部臨床研修支援ミニレクチャー. 2025 年 9 月 25 日. 旭川市
2. 伊東修一. N-of-1 試験. 2025 年度道北支部臨床研修支援ミニレクチャー. 2025 年 11 月 18 日. 旭川市
3. 塚田鉄平. 北海道理学療法士会 北海道 PT パラスポーツ web ミーティング「北海道理学療法士会のパラスポーツへの関わり」2025 年 7 月 9 日 (オンライン)
4. 塚田鉄平. 北海道障がい者スポーツ協会初級パラスポーツ指導員養成講習会「各種障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫」2025 年 11 月 8 日. 札幌市
5. 塚田鉄平. 北海道パラスポーツ指導者協議会公益社団法人北海道理学療法士会共催令和 7 年度 PT のための中級パラスポーツ指導員養成講習会「全国障害者スポーツ大会の競技・種目と障害区分」2025 年 11 月 30 日. 旭川市
6. 塚田鉄平. 北海道理学療法士会.北海道理学療法士学術大会シンポジスト「海道におけるパラスポーツ支援の地域一体性の取り組み～理学療法士の役割～」2025 年 12 月 13 日. 帯広市
7. 塚田鉄平. 札幌市障害者スポーツ協会初級パラスポーツ指導員養成講習会「パラスポーツのリスク管理」2026 年 1 月 24 日. 札幌市
8. 塚田鉄平. 道北地区パラスポーツ指導者協議会.初級パラスポーツ指導員養成講習会「パラスポーツのリスク管理」2026 年 3 月 12 日. オンライン
9. 高山拓也. ロコモ予防と健康づくり実行委員会「健康長寿とロコモティブシンドローム-最新の知見からわかるロコモティブシンドロームの予防と対策-」2025 年 10 月 5 日. 旭川市

10. 高山拓也. 2025 年度上川北支部会員懇談会「フレイル対策～在宅および入院中における支援を考える～」2025 年 7 月 19 日. 名寄市
11. 細谷菜々望. 創傷治癒のキホンのキ（虚血肢）傷があるのだけど、リハビリはどうしたらいいの. 第 6 回フットケア・足病医学会年次学術集会. 2026 年 2 月 27 日. 大阪府
12. 才田良幸. 令和 7 年度第 4 回肝臓病教室「筋肉は第二の肝臓～運動習慣を身につけるには？～」2026 年 2 月 12 日. 旭川市
13. 才田良幸. コミュニケーションスキルの基礎. 2025 年度初級パラスポーツ指導員養成講習会. 2025 年 3 月 21 日. 旭川市
14. 甲谷滉康. 北海道科学大学地域教育センター・理学療法学科支部 同窓会共催講習会「医療と大学ができる社会貢献を考える」2025 年 6 月 28 日. 札幌市
15. 甲谷滉康. 旭川医科大学病院がん相談支援センターほっとピアセミナー「がんと運動のチカラ」2025 年 11 月 22 日. 旭川市
16. 橋本直宏. 第 14 回北海道リウマチケアミーティング「旭川医科大学病院における関節リウマチ患者に対する取り組み」2025 年 8 月 1 日. 札幌市
17. 村田絵吏. 日本乳がん学会北海道地方会 市民啓発セミナー「こころとからだを守る運動習慣」2026 年 3 月 7 日. 札幌市

【学会発表】

1. Takanori Ro, Shuichi Ito, Yuya Takahashi, Norihiko Muraoka, Hiroya Sato, Teppei Tsukada, Tetsuo Ota. The effectiveness of an audit form to improve the quality of medical records for physiotherapists, occupational therapists, and speech-language-hearing therapists. World Physiotherapy Congress 2025 TOKYO.
2. 村岡法彦, 甲谷滉康, 呂隆徳, 木下学, 大田哲生. 高齢膠芽腫患者の退院時歩行自立度と全生存期間との関連. 第 3 回脳腫瘍支持療法研究会学術集会. 2025 年 7 月 19 日. 福岡県
3. 村岡法彦, 田島千草, 齊藤浩平, 石川潤一, 阿部慎一, 山内洋, 呂隆徳, 大田哲生. 北海道旭川市周辺におけるがんリハビリテーションの現状－訪問・通所リハビリテーションの実態調査－. 第 12 回日本地域理学療法学会学術大会. 2025 年 10 月 11 日. 札幌市
4. 伊東修一, 西谷健太郎, 三田村信雄, 市川花, 細谷菜々望, 林寛将, 呂隆徳, 大田哲生, 紙谷寛之. 心臓外科手術患者に用いるフレイル指標の特性の検証. 第 9 回日本循環器理学療法学会学術大会. 2025 年 12 月 13 日. 名古屋市
5. 塚田鉄平, 才田良幸, 伊東修一, 佐藤義文, 梅本かほり, 信太雅洋, 呂隆徳, 大田哲生. 中級パラスポーツ指導員養成講習会の受講者の内訳と受講者の 1 年後の活動内容につ

- いて、第12回 日本スポーツ理学療法士学会 学術大会 2025年11月30日、札幌市
6. 細谷菜々望, 菊地信介, 志子田未央, 土井田務, 伊東修一, 呂隆徳, 鎌田啓輔, 栗山直也, 東信良, 大田哲生. CLTI患者のADL改善に前頭葉機能が及ぼす影響. 第6回フットケア・足病医学会年次学術集会. 2026年2月27日. 大阪府
 7. 岡村綾子, 呂隆徳, 長谷川三希子, 北村憲一, 佐藤聖, 大田哲生. 発達援助と脊柱側弯予防を意識した理学療法を行った、長期NICU入院中の先天性右肺無形成症児の1例. 第12回日本小児理学療法学会学術大会(大会長賞). 2025年12月20日. 名古屋市
 8. 吉田圭佑, 呂隆徳, 大田哲生. 小児期発症の劇症型心筋症に対するリハビリテーションの経験. 第8回道北理学療法士学術大会(大会長賞). 2026年1月17日. 富良野市
 9. 西谷健太郎, 伊東修一, 呂隆徳, 大田哲生, 紙谷寛之. 術前からダイナペニアを呈する心臓血管外科手術患者の特性. 第9回日本循環器理学療法学会学術大会. 2025年12月14日. 名古屋市
 10. 甲谷滉康, 村岡法彦, 渡邊安紀, 八木橋史佳, 呂隆徳, 木下学, 大田哲生. 悪性神経膠腫患者のQOLの変化について. 第3回脳腫瘍支持療法研究会. 2025年7月19日. 福岡県
 11. 池上健太, 青木沙優, 呂隆徳, 大田哲生. 大腿骨頭回転骨切り術後THAを施行し, リハビリテーション後自宅退院できた1症例. 第8回道北理学療法士学術大会. 富良野市
 12. 半田佳恋, 高山拓也, 村岡法彦, 呂隆徳, 大田哲生. 職場復帰に向けて歩行自立を目指した視床出血の一例—急性期の経過—. 第8回道北理学療法士学術大会. 2026年1月17日. 富良野市
 13. 島貫克哉, 呂隆徳, 大田哲生. 急性期脳梗塞症例に対するBrain Machine Interfaceの使用経験. 第9回日本リハビリテーション医学会秋季学術大会. 2025年10月24日. 旭川市
 14. 田中団, 伊東修一, 八木橋史佳, 呂隆徳, 大田哲生. 人工股関節全置換術を施行した失語症患者の脱臼予防指導. 第55回北海道作業療法学会学術大会, 2025年6月21, 22日. 札幌市
 15. 田中団, 伊東修一, 呂隆徳, 伊藤浩, 谷野弘昌, 光武遼, 大田哲生. THA術後における開排法での靴下着脱動作可能率の経時的変化. 第52回日本股関節学会学術集会. 2025年10月24日, 25日. 下関市
 16. 田中団, 伊東修一, 呂隆徳, 大田哲生. 人工股関節全置換術後における開排法での靴下着脱動作達成率の経時的変化～股関節可動域変化との関連に着目して～. 2025年度リハビリテーション機能評価研究会. 2026年1月10日. 東京都
 17. 村田絵吏, 甲谷滉康, 渡邊安紀, 大田哲生. 橈骨神経麻痺を呈し長期抗がん剤治療後に復職を目指したユーイング肉腫患者への関わり. 第14回日本がんリハビリテーション学会学術集会. 群馬県
 18. 片岡慶大, 村岡法彦, 呂隆徳, 八木橋史佳, 遠藤寿子, 大田哲生. 1年間外来リハビリ

- テーションを継続できた筋委縮性側索硬化症の一症例，第 47 回国立大学リハビリテーション療法士学術大会．2025 年 7 月 12 日．旭川市
19. 八木橋史佳，甲谷滉康，村岡法彦，呂隆徳，木下学，大田哲生．重度失語症となった膠芽腫患者への言語聴覚士の取り組み－本人の意思に寄り添い QOL を維持することができた症例－．第 3 回脳腫瘍支持療法研究会．2025 年 7 月 19 日．福岡県
 20. 小川徹，村岡法彦，八木橋史佳，呂隆徳，齊藤容加，石田健一，及川欧，大田哲生．安全な経口摂取へ向けた取り組み－情報共有ツール「食事シート」の導入－．リハビリテーション・ケア合同研究大会大阪 2025．2025 年 11 月 21 日，22 日．大阪府
 21. 阿部慎一，村岡法彦，呂隆徳，岡村綾子，才田良幸，大谷忠義，中嶋光秀，中村賢，大西正剛，田中雄也，及川欧．道北地域のがん患者に関する理学療法情報提供書の検討（第一報）．第 12 回日本地域理学療法学会学術大会．2025 年 10 月 12 日．札幌市